NIE実践報告

1．タイトル：☆授業の導入にNIE

2．学校名

徳島県立城西高等学校神山分校

3．実践者名（代表者名）

笠井　智恵

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代社会　29人

6．単元（本時の学習課題）名

（特定の単元名はなし）

7．目標（狙い）

毎時間の授業の導入に新聞記事を利用し、社会に関心を持たせるとともに、授業内容へのスムーズな入りをねらう。また、生徒のメディアへの認識を高め、正しい情報処理能力などを育成する。

8．評価の視点

紹介される記事に関心を持っているか。自分のこととしてとらえられたり、客観的で公正な見方ができるなど、多方面から情報にアプローチできているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

毎時間5分から10分程度（状況に応じて授業ないでも新聞を利用する）。現代社会は2単位

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①授業のはじめに最新の時事問題を発問し、生徒に答えさせる。ただし、単元によっては教師主導の時事問題紹介から入る。
②生徒の意見を受けて新聞記事を紹介し、解説したり生徒と意見交換を行う。

（留意点）
・新聞記事の選定については、傾向が偏らないように多方面から、また必要に応じて数紙の紙面比較など手法を変えながら行う。
・単元と離れているような記事でも、時流の中で必要と思われる記事ははずさない。
・単元と関係の深い記事の場合は、授業の途中でも発展的に新聞記事を利用する。また、一つの記事から複数の単元にわたり展開するケースもある。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

以前よりも新聞を読むようになった、社会の出来事がよくわかるようになった、新聞記事について家族と話す機会が増えた、など。

12．成果と課題

時事問題に関する関心が高まり、授業内容も単元によっては深めることができた。生徒の反応が上々で、積極的に発言する生徒も出てきた。ただ、時間的な余裕がないので、授業展開も、新聞記事のチェックやスクラップにも十分な手間暇をかけることができていない。